

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年6月13日 (2013.6.13)

【公開番号】特開2012-72128(P2012-72128A)

【公開日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2011-186875(P2011-186875)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/39 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/86

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/39

A 6 1 K 8/44

A 6 1 K 8/81

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月24日 (2013.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルカリ剤を含有する第 1 剤、過酸化水素を含有する第 2 剤、及び第 1 剤と第 2 剤の混合液を泡状に吐出するための非エアゾールフォーマー容器を含む二剤式泡状染毛剤であって、第 1 剤中に成分(A)～(D)を含有し、成分(A)のアニオンサイトと成分(B)のカチオンサイトとの当量比(アニオン/カチオン)が 1 より大きく、成分(C)と成分(D)の含有量の質量比(C)/(D)が 5 以下であり、混合液の 25℃における粘度が 1～300mPa・s である二剤式泡状染毛剤。

(A)カルボン酸系アニオン界面活性剤

(B)ジアリルジメチル 4 級アンモニウム塩モノマーのモル分率が 70% 以上である重合体又は共重合体

(C)メタジヒドロキシベンゼン構造を有する酸化染料 0.5～1.5質量%

(D)重量平均分子量 200～1200 のポリプロピレングリコール 0.1～9 質量%

【請求項 2】

成分(C)が、レゾルシン、2-メチルレゾルシン及び4-クロロレゾルシンから選択される酸化染料である請求項 1 に記載の二剤式泡状染毛剤。

【請求項 3】

成分(A)が、N-アシルアミノ酸塩、N-アシル-N-アルキルアミノ酸塩、エーテルカルボン酸塩及びスルホコハク酸エステル塩から選ばれる 1 以上である請求項 1 又は 2 に記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 4】

第 1 剤中の成分(A)の含有量が、1～16質量%である請求項 1～3 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 5】

第 1 剤中の成分(B)の含有量が、0.2～5 質量%である請求項 1～4 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 6】

第 1 剤中の成分(D)の含有量が、0.5～6 質量%である請求項 1～5 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 7】

第 1 剤中の成分(C)の含有量が、0.55～1.4質量%である請求項 1～6 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 8】

成分(C)と成分(D)との含有量の質量比(C)/(D)が0.06～3である請求項 1～7 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 9】

成分(D)の重量平均分子量が250～1100である請求項 1～8 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 10】

成分(D)の重量平均分子量が300～800である請求項 1～9 のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 11】

成分(A)のN-アシルアミノ酸塩のアミノ酸残基が、グルタミン酸及びアスパラギン酸から選ばれる1以上である請求項 3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 12】

成分(A)のN-アシルアミノ酸塩が、N-ラウロイルグルタミン酸塩、N-ミリストイルグルタミン酸塩、N-ステアロイルグルタミン酸塩、N-ココイルグルタミン酸塩及びN-水添タロウグルタミン酸塩から選ばれる1以上である請求項 3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 13】

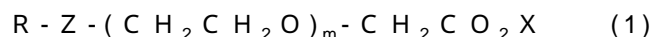
成分(A)のN-アシル-N-アルキルアミノ酸塩のアミノ酸残基が、グルタミン酸、グリシン及び-L-アラニンから選ばれる1以上である請求項 3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 14】

成分(A)のN-アシル-N-アルキルアミノ酸塩が、N-ラウロイル-N-イソプロピルグリシン塩、N-ラウロイルサルコシン塩、N-ミリストイルサルコシン塩、N-パルミトイルサルコシン塩及びN-ラウロイル-N-メチル-L-アラニン塩から選ばれる1以上である請求項 3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 15】

成分(A)のエーテルカルボン酸塩が、ポリグリセリルアルキルエーテル酢酸塩及び次の一般式(1)で表されるエーテル酢酸塩から選ばれる1以上である請求項 3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。



〔式中、Rは炭素数7～19の直鎖又は分岐鎖のアルキル基又はアルケニル基を示し、Zは-O-又は-CONH-を示し、Xは水素原子、アルカリ金属、トリエタノールアミン又はアンモニウムを示し、mは1～20の数を示す。〕

## 【請求項 16】

Rの炭素数が11～15である請求項15に記載の二剤式泡状染毛剤。

## 【請求項 17】

mが3～15である請求項15又は16に記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 18】**

mが6～12である請求項15又は16に記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 19】**

エーテル酢酸塩がポリオキシエチレン(10)ラウリルエーテル酢酸塩、ポリオキシエチレン(8)ミリスチルエーテル酢酸塩、ラウリン酸アミドポリオキシエチレン(6)エーテル酢酸塩、ラウリン酸アミドポリオキシエチレン(10)エーテル酢酸塩、ポリオキシエチレントリデシルエーテル酢酸塩及びポリオキシエチレンラウリルエーテル酢酸塩から選ばれる1以上である請求項15に記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 20】**

成分(A)のスルホコハク酸エステル塩が、スルホコハク酸と脂肪族アルコール(炭素数が10～22)又はポリオキシエチレンアルキルエーテル(アルキル基の炭素数が10～22、エチレンオキシド付加モル数が1～5)とのモノエステル又はジエステルの塩である請求項3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 21】**

成分(A)のスルホコハク酸エステル塩が、スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム、ポリオキシエチレンスルホコハク酸ラウリル二ナトリウム及びジアルキルスルホコハク酸ナトリウムから選ばれる1以上である請求項3～10のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 22】**

成分(B)のジアリルジメチル4級アンモニウム塩モノマーのモル分率が90%以上である請求項1～21のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 23】**

成分(A)のアニオンサイトと成分(B)のカチオンサイトとの当量比(アニオン/カチオン)が1.1～20である請求項1～22のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 24】**

成分(A)のアニオンサイトと成分(B)のカチオンサイトとの当量比(アニオン/カチオン)が1.2～10である請求項1～23のいずれかに記載の二剤式泡状染毛剤。

**【請求項 25】**

請求項1～24のいずれかに記載の二剤式泡状酸化染毛剤を用いた染毛方法であって、非エアゾールフォーマー容器内で第1剤と第2剤を混合した後、その容器から吐出される泡状の混合液を、手にいったん取った後、毛髪に適用し、3～60分放置し、混合液を洗い流す染毛方法。

**【請求項 26】**

泡状の混合液を毛髪に適用後、洗い流す前に毛髪上で指を用いて再度泡立てる請求項25に記載の染毛方法。